

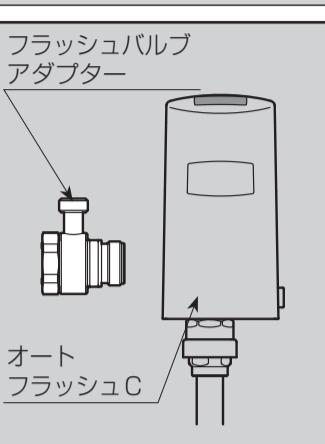
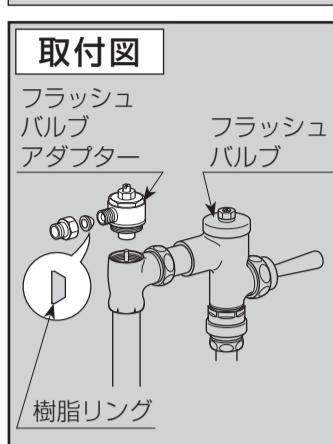
1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け(フルオート便器洗浄付の場合)

- フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書に従って、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。

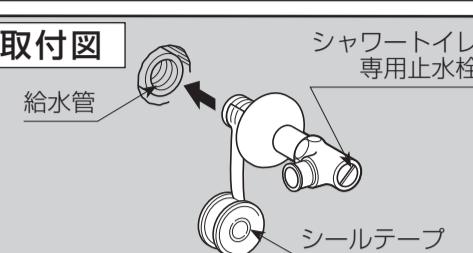
2 分岐金具(止水栓)の取付け

フラッシュバルブアダプターの取付け

止水栓分岐タイプ



シャワートイレ専用止水栓の取付け



シャワートイレ専用止水栓を給水管に取り付ける。

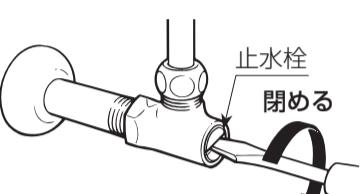
- シャワートイレ専用止水栓のねじ部に、シールテープなどのシール材を巻きます。
- 壁面に取り出した給水管にシャワートイレ専用止水栓を取り付けます。

分岐金具・分岐栓の取付け(タンク用止水栓に接続する場合)【注意2-1参照】

1. 止水栓を閉める。

便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっぱいに閉め、給水を止めます。

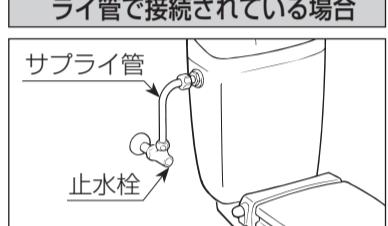
※止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。



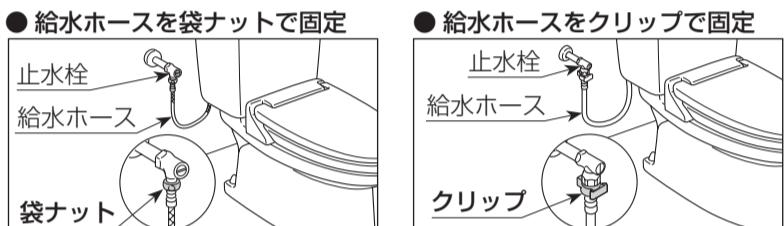
2. 給水の確認を行う。

止水栓と便器(タンク)の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。

■止水栓と便器(タンク)がサプライ管で接続されている場合



■止水栓と便器(タンク)が給水ホースで接続されている場合



【注意2-1】

- 付属の分岐金具または別売のCF-008-1またはCF-005-1(止水栓付)を使用する。

※上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

-5-

【注意2-2】

- 各部品の向きと順序を間違えない。

※間違えると漏水します。

- 既存のサプライ管に割りリングが付いていない場合は、タンク給水ホース(別売品)を使用する。

※漏水の原因になります。

- サプライ管の接続は確実に行う。

※漏水の原因になります。

【注意2-3】

- 止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。

※破損する恐れがあります。

【注意2-4】

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。

- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。

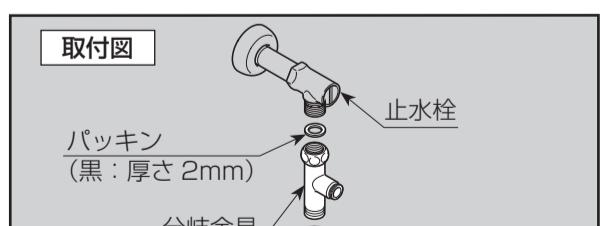
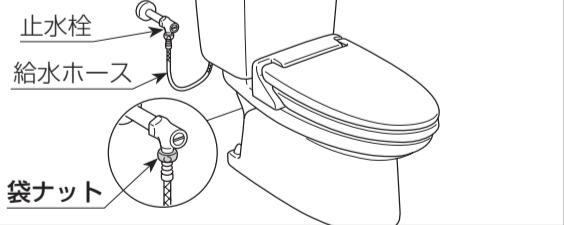
- 止水栓が上下に5mm以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。

※漏水の原因になります。

- 固定できない場合はタンク給水ホース(別売品)をご使用ください。

■止水栓と便器(タンク)が給水ホース(袋ナット)で接続されている場合

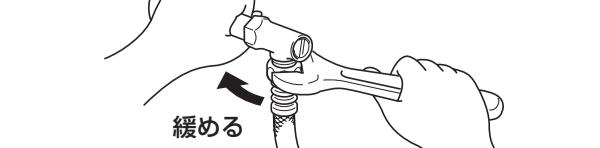
●給水ホースを袋ナットで固定



3. 給水ホースを外す。

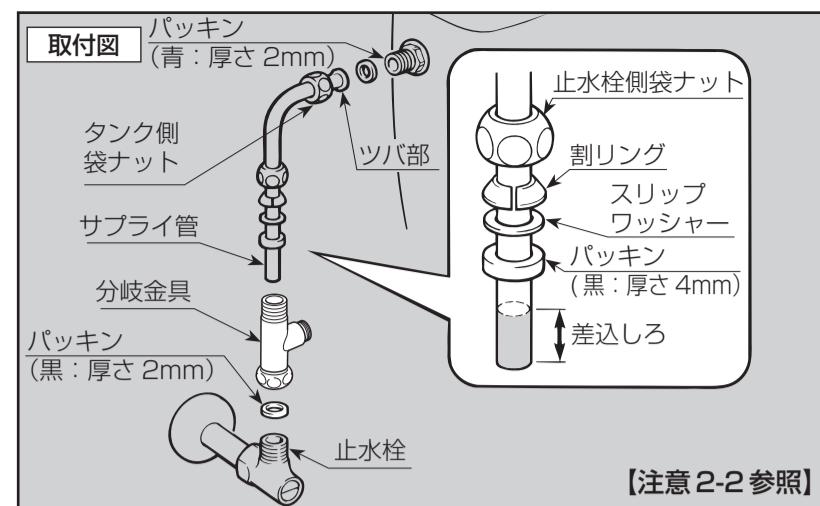
- 止水栓側の袋ナットを緩めます。

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



-7-

■止水栓と便器(タンク)がサプライ管で接続されている場合



3. サプライ管を外す。

【注意2-3参照】

タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。

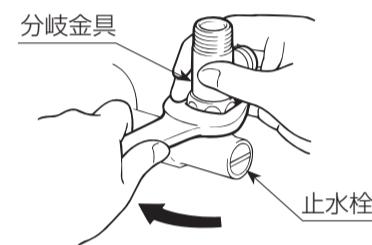
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付ける。

パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

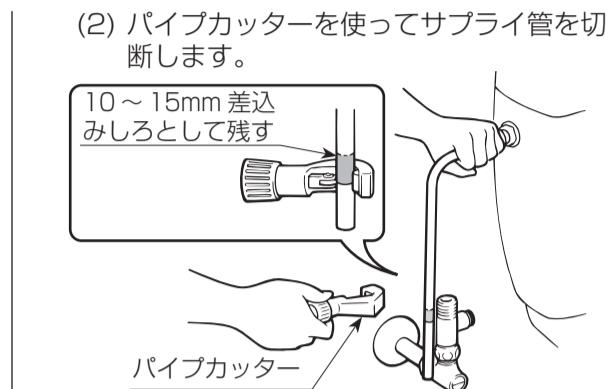
(締付トルク10~15N·m(100~150kgf·cm))



5. サプライ管を切断する。

【注意2-4参照】

- サプライ管の端(ツバのない側)を現物合わせて、分岐金具の差込しろとして10~15mm残るよう印を付けます。

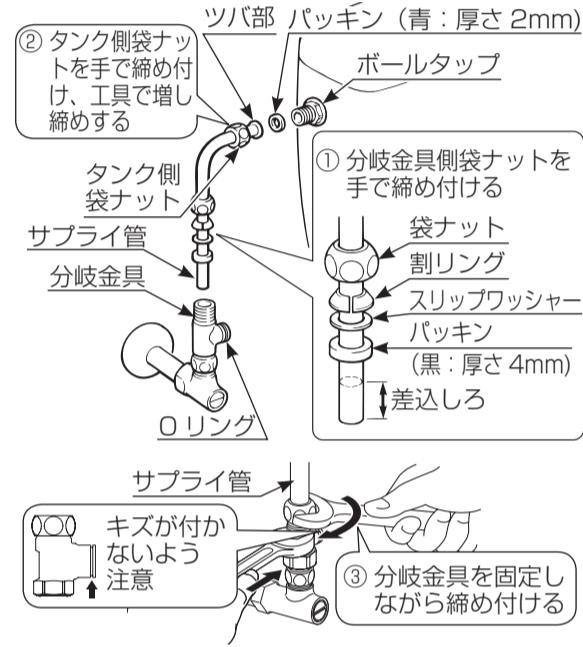


6. サプライ管を取り付ける。

【注意2-2参照】【注意2-5参照】

【注意2-6参照】【注意2-7参照】

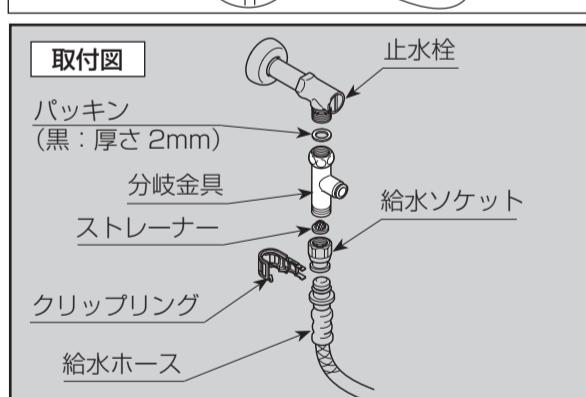
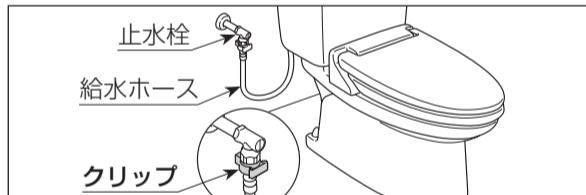
(締付トルク10~15N·m(100~150kgf·cm))



-6-

■止水栓と便器(タンク)が給水ホース(クリップ)で接続されている場合

●給水ホースをクリップで固定

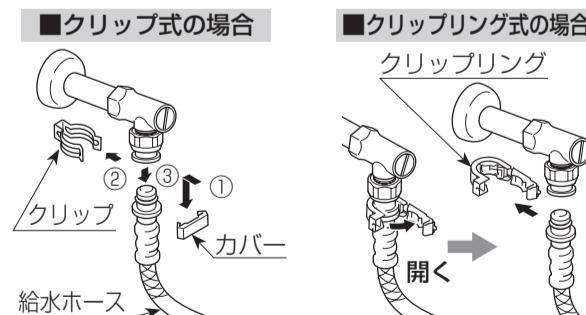


3. 給水ホースと給水ソケットを外す。

【参考2-1参照】

止水栓からクリップカバーとクリップを外してホースを抜きます。

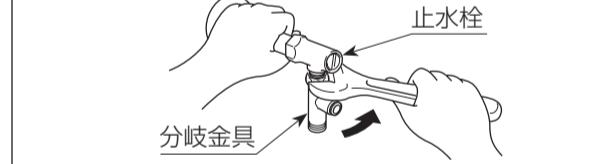
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付ける。

パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

(締付トルク10~15N·m(100~150kgf·cm))



5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。

【注意2-5参照】【注意2-8参照】

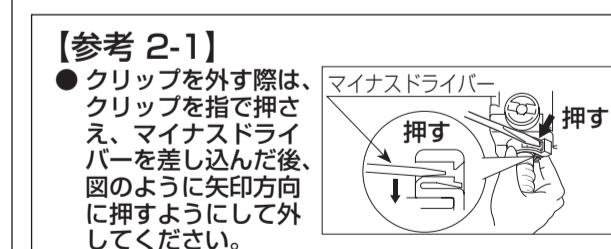
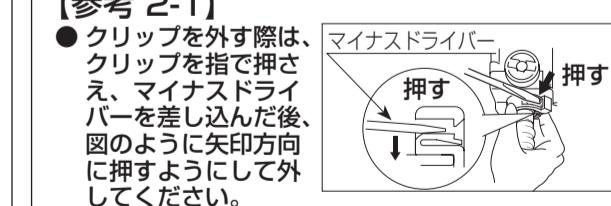
- ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。

(締付トルク10~15N·m(100~150kgf·cm))

- 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップリングで固定します。

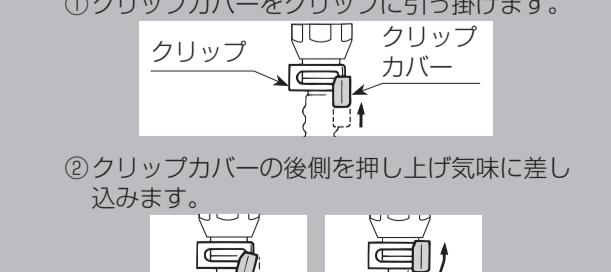
取付後にクリップリングを回し、確実にまっていることを確認してください。

また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【参考2-1】

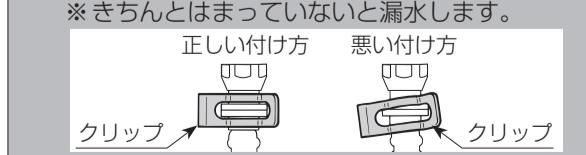
- クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように矢印方向に押すようにして外してください。



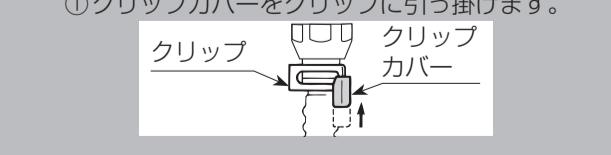
【注意2-8】

- クリップは確実にねじ込む。

※きちんとまつていないと漏水します。



- クリップとカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。



-8-

3 本体着脱プレートの取付け

既存の便座を取り外す場合は、【補足1】をご覧ください。

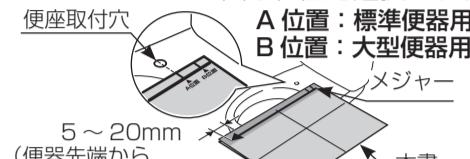


1. 本体着脱プレートの取付位置を確認する。

※ 本説明書端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの取付位置を決定します。

①便器が標準サイズの場合 A 位置を目安に、大型サイズの場合 B 位置を目安に便座取付穴に合わせます。

②矢印が便器先端から目安として 5~20mm 出る位置を選択します。



便座取付穴 (便器先端から便座が突出する位置の目安)
A 位置: 標準便器用
B 位置: 大型便器用

③便座取付穴と本体着脱プレートの取付位置を合わせます。



便体着脱プレートの△マークを説明書端のメジャー A 位置、B 位置に合わせます。

※ 本体着脱プレートはパッキン (黒) が付いている側を便器側に向けます。



本体着脱プレートの裏側

2. 本体着脱プレートを固定する。

【注意 3-1 参照】

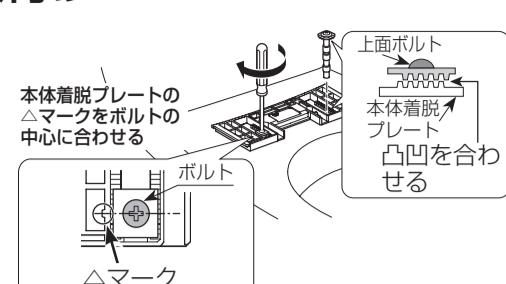
①上面ボルト 2 本を穴に差し込みます。

※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。

②ボルトが浮かないように、上から押しながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。この後さらに 1~2 回転程度回し、確実に締まっていることを確認してください。

(締付トルク 1.0~3.0N·m
{10~30kgf·cm})

※ インパクトドライバーは使用しないでください。



【注意 3-1】

● ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しづつ行う。
※ 締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

補足 1

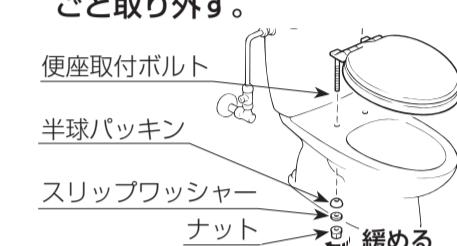
既存の便座の取外し

【参考 3-1 参照】

■ ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。

2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



■ さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。

2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。

3. さや 2 本を便器から抜き取る。



①便座を外す
②ボルトを緩めて押し込む
③さやを抜き取る

-9-

4 シャワートイレ本体の取付け

1. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。



①保護カバーを外します。
②本体給水ホースを差し込みます。

※ 給水ソケットは回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

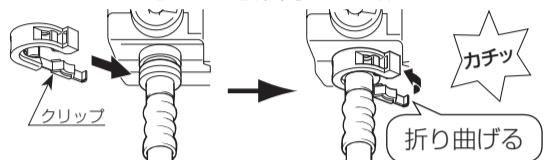
【注意 4-4 参照】

③クリップで固定します。【注意 2-5 参照】

【注意 2-8 参照】【注意 4-5 参照】【参考 2-1 参照】

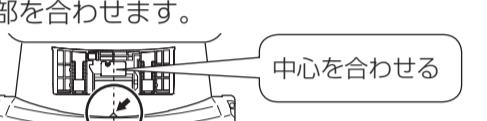
※ クリップに方向性はありません。

※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. シャワートイレ本体を取り付ける。

①本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
②本体着脱プレートの中心と本体背面部の凸部を合わせます。



③本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。

※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。

※ 本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。

※ 本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。(③-2-②)

※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなくなりません。

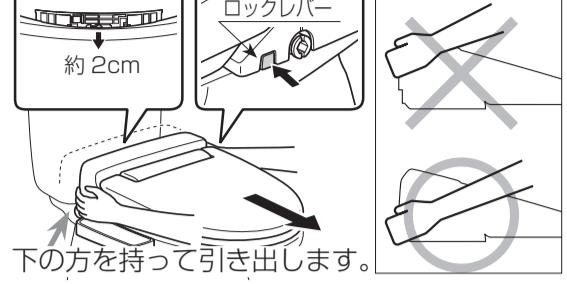
【注意 4-1 参照】【注意 4-2 参照】

【注意 4-3 参照】【参考 4-1 参照】

■ 本体の外し方

①本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。

②ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。



【注意 4-1】

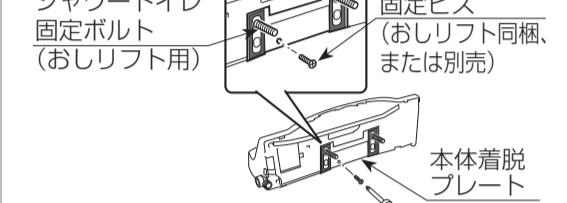
● 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 4-2】

● 電源プラグに衝撃を掛けたり、便器内に水没させないように注意する。

【注意 4-3】

● 便座昇降装置おしリフト (CWA-40) とセットする場合、おしリフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付ける。



【注意 4-4】

● 本体給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。

※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 4-5】

● クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。

※ 漏水の原因になります。

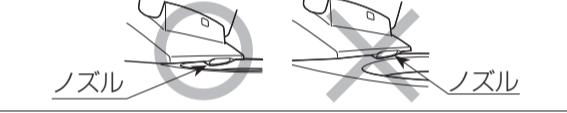
【参考 3-1】

● 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

● 取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

【参考 4-1】

● ノズルが、便器のリム部に乗り上げないように取り付けてください。



-10-

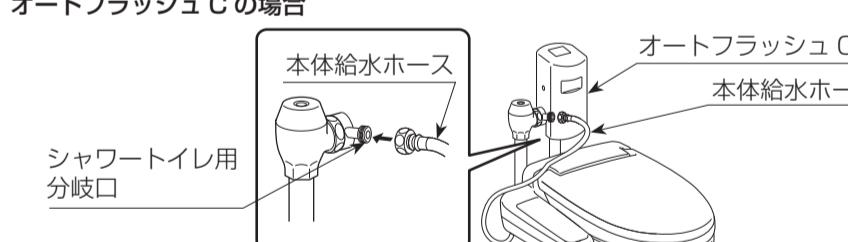
5 本体給水ホースの取付け

(分岐金具側、オートフラッシュ C 側)

取付図



オートフラッシュ C の場合

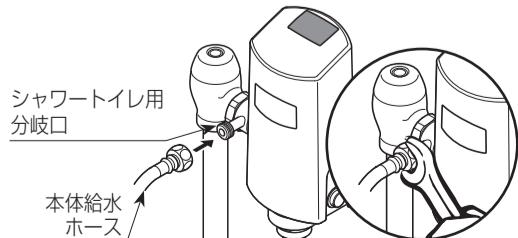


① 分岐金具と給水ホースの間にパッキンをはさみ、給水ホース側の袋ナットを最初に手でいっぶいに締め付けてから工具で締めめします。



[オートフラッシュ C の場合]

- ① シャワートイレ用分岐口を手前に回転させます。
- ② 本体給水ホースとオートフラッシュ C のシャワートイレ用分岐口の間にパッキン (青: 厚さ 2mm) を挟みます。
- ③ 本体給水ホース側の袋ナットを最初に手でいっぶいに締め付けてから工具で締めめします。



6 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 6-1 参照】

①アース線を接続します。

②電源プラグを差し込みます。

※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

〈漏電保護機能付の場合〉



2. 電源が入っていることを確認する。

操作部の【温水】と【便座】の表示ランプが点灯していることを確認してください。

確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

(電源投入後 40 秒以内を目安にしてください。)

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続する。

※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 6-1】

〈漏電保護機能付の場合〉

● 操作部の洗浄強さランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプまたは洗浄強さランプが点灯することを確認する。

※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

● リセットボタンを押しても電源ランプまたは洗浄強さランプが点灯しない (電源プラグの表示ランプが点灯する) 場合は、200V が通電していないかを確認する。

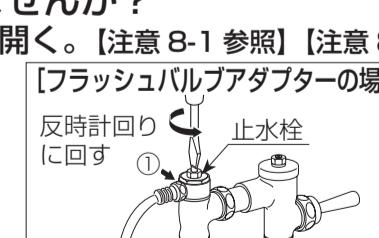
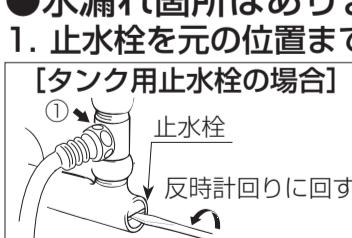
7 リモコンの位置決め・取付け (リモコン付の場合のみ)

リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

8 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

● 水漏れ箇所はありませんか?

1. 止水栓を元の位置まで開く。【注意 8-1 参照】【注意 8-4 参照】

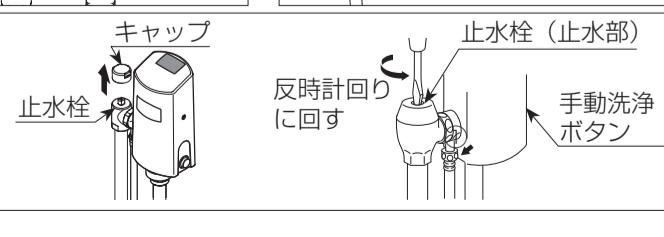


[オートフラッシュ C の場合]

※ 機種によっては、止水部にキャップが付いているものもあります。

[キャップ付の場合]

キャップを外した後、ドライバーで止水または通水調節を行ってください。



漏水確認	チェック欄		確認内容	
	漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。)			
	□	① 止水栓部および給水ホースとの接続部		
	□	② 本体と給水ホースとの接続部		

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

[注意 8-2 参照] [注意 8-3 参照] [注意 8-4 参照]

- 電源が入っていることを確認する。
- 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。



確認機能	チェック欄		確認内容
	□	○	
おしりノズル	□	○	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約1~2分掛かることがあります。 ①【おしり】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	□	○	2. 【止】を押すと水が止まりますか？
ビデノズル	□	○	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約1~2分掛かることがあります。 ①【ビデ】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	□	○	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約15分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄		確認内容
	□	○	
おしりノズル	□	○	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ②シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	□	○	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？
暖房便座	□	○	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？

4. 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

- 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
- 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。

※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

【注意 8-1】
●止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
※ストレーナー部から漏水します。

【注意 8-2】
●インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあります。
※脱臭スイッチはありません。
自動でファンが作動します。

【注意 8-3】
●着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。
※脱臭スイッチはありません。
自動でファンが作動します。

-13-

お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
※ 寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。



2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。

3. 電源プラグをコンセントから抜く。

4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。

あらかじめ水受け（約1L以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに90°回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。

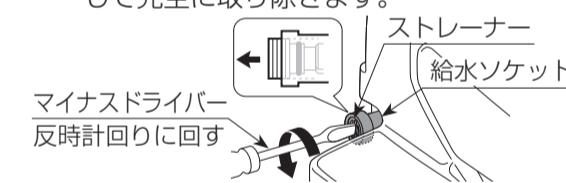
マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに90°回して確実に取り付けます。

6. 本体給水ホースから水を抜く。

[注意 9-1 参照]

①ストレーナーの下に洗面器などを置きます。

②給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いで完全に取り除きます。



③シャワートイレ本体を便器から取り外します。
(「④シャワートイレ本体の取付け手順2」の逆の手順)

④本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
⑤水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



⑥シャワートイレ本体を便器に組み付けます。

⑦電源プラグをコンセントに差し込む。

⑧【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。

※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

⑨約5秒後、【止】を押す。

10. 電源プラグをコンセントから抜く。

流水音（擬音装置）の設定

流水音の設定を変更することができます。

●オート擬音の設定変更

オート擬音ON時は、便座に座ると流水音が流れ、便座から立ち上がると停止します。（出荷時、オート擬音の設定はONになっています。）

1. 【温水】と【便座】と同じタイミングで6秒以上押した後、【流水音】を押す。

※ セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が、下記の回数だけ一瞬点滅します。

オート擬音	表示ランプの点滅
OFF	1回
ON	2回

2. 設定したら【止】を1回押して完了する。

※ 設定中に【止】を押したり、1分間何もしなかった場合は、通常状態に戻り、設定ができなくなります。

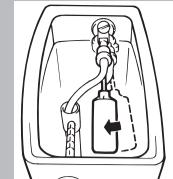
-15-

【注意 8-4】

●タンクへの給水が止まなくなったり、給水しなくなかった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。

1. タンクのナットを緩めて、ボルトタップを垂直に立てます。

2. ボルトタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

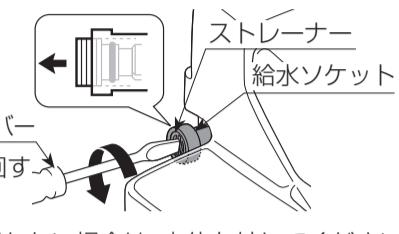
1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。

[注意 9-1 参照]

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



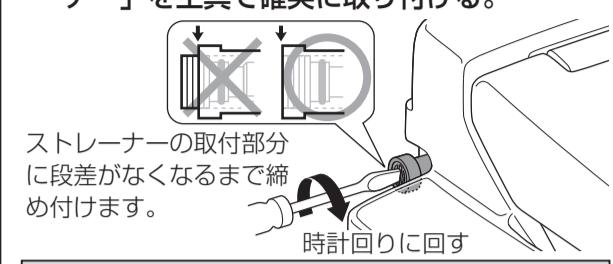
※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

[注意] ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いで完全に取り除く。



4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。



ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。
時計回りに回す

[取付時の注意] ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

5. 「止水栓」を元の位置まで開く。

6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

●ストレーナーの汚れがひどい場合は
ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ Oリングにキズを付けないように注意してください。
Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

[注意 9-1] ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

-14-

フルオート便器洗浄の設定変更について

フルオート便器洗浄の設定を、シャワートイレ本体で変更することができます。

■便器洗浄開始時間の変更

便座から立ち上がってから10秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。

①【便座】と【温水】を同じタイミングで6秒以上押したあと、【洗浄弱】と【節電】を同じタイミングで2秒以上押します。
同じ操作をするたびに、開始時間が10秒（お買い上げ時）→15秒→2秒→6秒→10秒…の順に切り替わります。
(セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が下記の回数だけ一瞬点滅します。)

設定時間	表示ランプの点滅
2秒、6秒、15秒	1回
10秒	2回

②設定したら【止】を押して完了します。

■フルオート便器洗浄の入/切

便座から立ち上がってしばらくすると、自動的に便器洗浄を開始します。このフルオート便器洗浄を行わないようにすることができます。切替方法は下記の通りです。

①【便座】と【温水】を同じタイミングで6秒以上押したあと、【おしり】と【節